

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援所 くくる3		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月1日		平成38年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	平成37年12月15日		平成38年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	平成38年1月22日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多機能型の事業所として、幼児期から学齢期までの発達の流れを見通すことができ、成長を切れ目なく計画的に支援できる体制が整っています。	・児発・放デイそれぞれの支援内容や記録を共有し、これまでの支援の積み重ねを踏まえた関わりができるよう心掛けています。	・発達段階や年齢に応じた支援のねらいを整理し、職員間で共通理解を深めながら、子ども一人ひとりに合った支援に繋がっていきます。
2	・子どもたちの「できた」「楽しい」という成功体験を大切にしながら、自己肯定感を育む支援に取り組んでいます。	・小さな成功体験を積み重ねられるよう、子どもたち一人一人に合った目標設定や声掛けを意識して支援しています。	・子どもたちの達成感や自己肯定感を育めるよう、支援内容や関わり方について職員間で共有・検討を重ねています。
3	・理学療法士が在籍しており、専門的な視点を活かした支援に加え、保育士をはじめとする様々な視点から、子ども一人一人の発達状況に応じた支援を行っています。	・体の使い方や動きの特性に着目し、日常の遊びの中で無理なく取り入れられる支援を行っています。 ・日々の支援の振り返りや職員間での情報共有を大切に、小さな変化にも気づけるよう意識して取り組んでいます。	・定期的なカンファレンスや振り返りを通して職員の専門性を高めるための学びを継続し、多職種連携を大切にしながら、より発達段階に応じた支援の充実を図っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の入れ替わりが多いことから、子ども一人ひとりの発達段階や特性の理解が十分に深まるまでに時間を要することがあり、継続した関わりや信頼関係の構築に繋がりにくいこと。	・引き継ぎや情報共有の時間が十分に確保できていないことや、業務習得を進めながら支援に入る体制となっていること。	・子ども一人ひとりの支援内容や関わり方について共有できる仕組みを整えて、職員が安心して継続的に関われる体制づくりに取り組んでいます。
2	・児発・放デイの利用時間の重なることで、室内の使い分けや環境設定に工夫が必要な場面があること。	・限られたスペースの中で、複数の支援を同時に行う必要があるため。	・時間帯や活動内容に応じた環境設定を行い、子どもたちが安心し、落ち着いて過ごせる環境づくりに心がけていきます。
3	・保護者との情報共有や意見交換の機会が十分確保できておらず、連携をさらに深めていく必要があること。	・保護者との関わりが送迎時の限られた時間にとどまることが多く、丁寧な情報共有や意見交換が十分に行えていないように感じる。	・送迎時の限られた時間でも、日々の支援の様子を分かりやすく伝える工夫を行うとともに、定期面談を通して保護者との情報共有や意見交換をより充実させていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援所 くくる3

公表日 令和8年 1月 29日

利用児童数 19名

回収数 15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	5		2	・どれくらいの人数が使っているのか一度しか見たことないので分からない。 ・利用者が多い曜日はスペースが足りないのではないかとと思う。 ・一度しか活動の様子を見たことがないので分からない。	・活動内容や人数に応じて環境を調整し、子どもたちが安心して過ごせるよう工夫しながら支援を行っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1	1	4	・実際、何人配置されているのかを知らない。 職員の配置数の問題かは分からないが、職員一人当たりの仕事量が多すぎてキャパオーバーしているように見られる。	・適切な人数を守っています。お子様の様子や利用人数に合わせて安全に過ごせるよう職員を配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく 構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1	1	6	・分かりやすく区別されていると思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12			3	・なっていると思う。 ・子どもたちの机やイスが古く、大きさも合っていないように思われる。	・机やイスについては、児童のお子様と放デイのお子様で使い分けをしています。 ・活動内容や利用人数に合わせて、安全で過ごしやすい環境となるよう心掛けていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	2			・周りや比べどのように配慮されているのかわかりにくい。活動内容の目的や成長の目的がわかりにくい。	・定期的にカンファレンスや振り返りを行い、職員間でお子様の発達や特性の理解を深めて、職員皆が同じ支援ができるよう努めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1			・よく分からない。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1			・何が出来ていないのかよく観察してくれていると思う。時々忘れるので様子を教えて頂けると有難い。	・お子様と保護者様のニーズを大切にしながら、丁寧な計画作成に努めています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	2		1	・よく分からない。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1			・家で訪問を通してどの様にしていきたいのか細かく伺って頂いて満足している。	・定期的に計画の見直しを行い、引き続き、計画に基づいた支援を行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	3		1	・時々最近はどのように思うか子どもの様子を通して教えて頂けると有難い。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	1	1	3	・何かイベントがあれば参加することもある。 ・今のところ、そのような機会はありません。	・今後、地域や他事業所等、外部との関わりが持てるよう検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	1			・よく分からない。どの様に成長してほしいかももう少し知りたい。	今後も変更がある際には分かりやすく丁寧な説明を心がけていきます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15				・しっかり直接伝えてもらっている。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3	3	3	・一度だけあった。またあると有難い。 ・もっとこういう機会があるといいと思う。	・今後も、お子様と保護者様に寄り添えるよう心掛け、必要に応じて検討していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	3	1		・最近は子どもの成長をよく教えて頂いて嬉しい。 ・送迎の時にその日の様子を細かく伝えてくれる人と挨拶のみの人がいて対応がバラバラな印象です。 ※不満はありません。 ・先生の入替わりが多すぎる。情報共有がしづらい。 ・先生がコロナ口変わりすぎて本当に全職員の方が一人一人の事を理解できているのかわからないし、連絡帳ができてから送迎時にあまり話すことも無くなったので伝え合っているとは思えない。	・貴重なご意見をありがとうございます。職員体制の変化が続いていましたが、定期的にカンファレンスや振り返りを行い、職員間でお子様の発達や特性の理解を深めて、情報共有を行っています。今後も引き続き、情報共有や振り返りの時間を大切にしていきます。職員皆がお子様の発達や特性に寄り添い、同じ支援ができるよう努めています。 ・連絡帳や送迎時の限られた時間になりますが、日々の支援の様子を分かりやすく伝え合えるよう職員皆で努めています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	4		1	・希望を言えば個別に聞いてもらっている。 ・相談したくもとの先生に相談しづらいかわからない。	・随時、ご相談や訪問させていただきお話しする機会を作っていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1			・ごちら側の疑問もじっくり聞いて頂いている。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	4	7	3	・まだやったことがない。 ・もっと見守る機会を設けてほしい。先生と話す時間も、もう少し作ってほしい。(年1だと少なくて感じる)	・今後、保護者様同士の交流や、事業所での取り組みや活動を通して、親子やきょうだい同士で触れ合える機会を検討していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	2	2	3	・STの相談をしたが、中々人数や日数により難しいとなり少し残念だった。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	3			・最近成長についても話して頂けたが、以前は少なく分かりづらかった。 ・連絡ノートのおかげでこちらから相談しやすいです。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1		3	・たまに子どもの様子が写っているので分かりやすい。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			3	・そう思う。	・個人情報の適切な管理と取扱いに注意させていただきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2		4	・よく分からない。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1		3	・よく分からない。	・定期的に火災や地震を想定した避難訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1		3	・分からない。	・事業所内で委員会を設置しており、職員の研修を行うなどして安全に療育を行えるよう努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1		4	・まだケガをしていないので分からない。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	1			・先生にとてもなついていて 信頼していると思う。	・お子様が笑顔で安心して通所し、楽しみの場所であり続けられるよう努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	2	1	1	・お友だちの名前を言ったり、歌を家で歌ったり楽しんでいると思う。	・お子様が笑顔で安心して通所し、楽しみの場所であり続けられるよう努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	4			・もう少し、どの様な周りと比べての状況で成長が見られたか、出来なかったことも含めどう対処しているか教えて頂けたら有難いです。送迎は本当に有難く、感謝しております。	・お子様と保護者様の思いに寄り添い、事業所の支援に満足して頂けるよう、努めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援所くるくくる3・放課後等デイサービスくるくくる3-2				公表日	令和8年1月29日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動や放デイと重なる時間帯によって場所を分けており、十分なスペースを確保しています。	・活動内容や重なる時間帯によって部屋を分けて行うことを話し合い、常に環境を整える必要があります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・基準人員の職員配置に加えて、様々な専門職員の配置を行っています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・階段には滑り止めのマットをつけ、滑りにくくしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日掃除を行い、清潔な療育室を保っています。また、玩具の消毒も定期的に行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・療育室以外に、相談室もあるため、必要に応じて個別の場所を確保しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・活動前に打ち合わせを必ず行っています。お子様の様子や状況に合わせて、情報共有するよう動めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・今回の結果を職員間で共有し、改善していきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員の面談を設け、職員の意見を取り入れるようにしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による評価を行いたいと思っているが、具体的な動きに繋がっていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・事業所内の研修や、外部の研修に参加する機会を設けています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・ホームページに掲載しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・アセスメントと家庭訪問や事業所内相談を定期的に実施し、個別支援計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・職員とモニタリングを行い、その日いなかった職員には記録にて全員に共有するようにしています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・モニタリングや記録での周知を行っています。初回の利用児には、職員間で子どもの情報共有を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・お子様の特性や発達に合った支援計画の作成に動めています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・職員全体で打ち合わせを行い、活動内容を決めています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・運筆・製作・運動遊び等、様々な活動に取り組めるようにしています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別、または小集団の専門的支援や小集団の活動と計画を立てて取り組んでいます。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼や昼礼で、その日の活動内容や役割分担について確認し、職員全員が把握できるよう努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・その日あった出来事などの共有事項等を日誌に記載することや、終礼で伝えるなどして職員全員が把握できるよう努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・反省点があれば、反省点を踏まえて改善できるよう職員間で話し合い、活動内容等を検討しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・職員皆でカンファレンスを行い、より良い支援計画に努めています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・関係機関と連携しながら様々なニーズのお子様の受け入れができるよう体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保育園への送迎時に、職員と情報共有する等、機会を持っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		・今後、検討していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・現在、交流は行っていないが、公園や児童館など他のこどもと交流の機会があります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・日々の送迎時に、保護者に支援の様子をお伝えし、保護者からもお話を伺い、職員間で共有するよう努めています。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約の際、資料を見ながら丁寧に説明するよう努めています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・家庭訪問や事業所内相談を通し、保護者様の意見やお子様のニーズを聞いています。それを踏まえて作成するよう努めています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・個別支援計画を見ながら、一つ一つ丁寧に説明を行うようにしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		・今後の開催について検討をしていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・職員間で連携し、相談できる体制を整えています。	

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月、おたよりを作成し、活動内容・活動風景を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			・個人情報の管理や取り扱いについては、職員間で十分注意するよう伝えていきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・絵カードやイラストを使い、お子様に合わせた対応を心がけています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルの作成を行い、事業所で定期的に訓練をしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・非常災害を想定した机上、実地訓練を行っています。定期的に避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・お子様の状況は事前に確認し、職員全員に周知するようにしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			・現在食物アレルギーをもつお子様は在籍していませんが、今後必要に応じて検討していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・事業所内の安全点検や、送迎時や戸外の危険箇所等を職員間で話し合い、安全に気をつけて支援が行えるよう努めています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・委員会を行い、事業所全体で共有、また、毎月職員会議で各事業所ごと確認、共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待・身体拘束に関する研修を、年に一度、職員全員が参加する機会を作っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				